

# サポセン和歌山

更生保護サポセンとセンター和歌山 〒640-8157 和歌山市八番丁4 八番丁館3階

第42号

発行責任者：和歌山保護司会会長  
編集：企画調整保護司  
TEL：073-460-9298  
FAX：073-425-1301  
E-mail：saposen\_w@ares.eonet.ne.jp



着任ごあいさつ



和歌山保護観察所 所長

西岡 純子

和歌山保護観察所長の西岡です。本年四月に神戸から転任してまいりました。今年は、新型コロナウイルスの流行による各種会合の自粛で皆様とお会いする場が奪われ、大変残念です。少しでも早くお目にかかれる機会をと思いつつ、まずはここで御挨拶いたします。

一昨年度和歌山では全保護区に更生保護サポセンとセンター（以下「サポセン」と記します）が揃い、平素はもとよりこうした時期でも、開所し活動されていたとのこと、厚く御礼申し上げます。

私はサポセンが大好きです。内外二つの理由があります。

外向きにはサポセンは保護司会の顔です。設置前は「保護司会ってどこにあるの?」と聞かれると困ったものです。今はサポセンを紹介できます。サポセンは保護司会活動を可視化したのです。

内向きにはサポセンは、会員交流の場です。以前は、研修会などで会員が出会っても、見知った者同士で集まりがちでした。サポセンができてそこへ出入りして話すなどし、会員の仲間意識が増し、会として活動し易くなったと聞きます。

保護司活動では、個々で行うケース活動と、会として動く地域活動の二本柱のうち、事件数の減少に従い前者が減り、後者の地域活動がうまく回れば、犯罪抑止につながり、一層事件が減るという好循環を生んでいます。サポセンはそういう今の保護司活動の象徴です。さらにサポセンが賑やかになることを願って、結びの言葉いたします。



和歌山保護司会 会長

小西 健之

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、様々な活動が制限される「緊急事態宣言」が発せられ、保護司活動及び保護司会活動も自粛を求められているところですが、その活動も「緊急事態宣言」の解除から徐々にではありますが、復活しようとの兆しが見えてきました。

この「コロナ禍」に対する不測の対応により定時総会が「書面表決」に、対象者との対応も「電話・その他の手段」を強いられました。ご協力に感謝しお礼申し上げます。

ご協力ありがとうございます  
ごぞいませ

以前のような日常生活に戻るのはまだまだ遠いことで、「マスクの着用」・「三つの密」密集・密接・密閉を避けつつ活動をしなければならぬ、これが日常生活!!ともなりますと不便な生活になろうかと思えます。今後の活動に対しても行事指向、運営形態にも変化が求められるものと思えます。広く皆様のご意見を求め活動してまいりたいと思えます。

今後共、ご協力いただきますようお願いいたします。





※写真撮影時には全員マスクを一時外してもらい、西岡観察所長と小西会長を中心に「ハイ、ポーズ！」

# ご受賞おめでとうございます

## 令和2年度和歌山市長感謝状 今年は13名の方が受賞されました

受賞  
おめでとうございます



5月27日、和歌山保護観察所へ受賞者の方が集まって頂き、市長感謝状の贈呈が行われました。例年総会時に贈呈式が行われておりますが、今年は、総会中止に伴い、贈呈式も中止となっております。

その為、全員マスク着用し、人との距離をとり、ドアを開け放して換気も行い、観察所の研修室を広く使用した上で贈呈を行わせていただきました。

受賞者のひとりである今吉あや保護司は「感謝状をいただきありがとうございます。これからも一年一年勉強させていただきます。」

北支部			西支部			東支部						
本村 廣幸 (ほんむらひろゆき)	中谷 節子 (なかにせつこ)	玉置 和幸 (たまきかずゆき)	今吉 あや (いまよしあや)	新野 富次夫 (しんのふじお)	島 由佳子 (しまゆかこ)	楠本 眞司 (くすもとしんじ)	湯橋 敬一 (ゆはしけいち)	村瀬 一也 (むらせかずや)	野間 弓子 (のまゆみこ)	西川 奈緒美 (にしかわなおり)	坂本 記美子 (さかもときみこ)	小坂 千恵 (こさかちえ)

(敬称略)



今吉あや保護司  
(北支部)

せていただき、社会が明るくなるように更生保護活動に貢献できればと思っております。」と受賞の感想を述べてくれました。

(林 吉男 記)

## 新任保護司紹介

令和2年5月25日付で、5名の保護司が委嘱されました。これにより和歌山保護司会の保護司数は200名、充足率は94.78%となりました。



石橋 洋二  
(いしはら ようじ)  
東支部・宮前  
協力組織部会

未来を担う子どもたちの更生を支え、明るい地域社会をつくっていくために、重責を全うすべく一生懸命努めてまいります。



大澤 理恵  
(おおさわ りえ)  
西支部・城北  
研修部会

この度委嘱されました大澤でございます。会長をはじめ、人生においても大先輩である皆様方にご指導いただきながら励む所存です。



田村 朋也  
(たむら ともや)  
南支部・高松  
研修部会

新任の田村朋也と申します。今年34歳となる若輩者ですが、和歌山・社会のお役に立てればと思っておりますのでよろしくお願ひします。



福中 仁  
(ふくなか じん)  
北支部・楠見  
犯罪予防活動部会

「何のために」生まれてきたのか、皆が幸せになるための応援者でありたいと思う。資質を高め共に成長していきたい。



宮本 保志  
(みやもと やすし)  
北支部・野崎西  
犯罪予防活動部会

この度縁あって保護司という重責を拝命いたしました。様々な対象者の方々と接することとなりますが、常に相手の気持ちを考えてながら寄り添う存在になれるよう努力したいと思ひます。

## 令和2年5月24日付でご退任となられた保護司

氏名	地区	初年度委嘱年月日	従事年数
木村 晶三	南支部	平成16年5月25日	16年
瀬村 浩璽	北支部	平成10年5月25日	22年

## 退任保護司

長い間ありがとうございました

## 令和2年度和歌山保護司会総会

### 総会・懇親会中止に

例年5月に開催されている和歌山保護司会総会・懇親会はコロナウイルス感染症拡大防止の為に、今年度は中止となりました。

その為、議案については総会資料を郵送し、議案の回答を皆様から返送して頂く、書面表決となりました。その結果は左記の通りです。

### 令和2年度和歌山保護司会総会

#### 議決結果(書面表決)

会員数 198 (4月1日)  
賛成数 183 未回答 15

以上、過半数賛成により、全ての議案が承認されました。

#### 各支部総会 議決結果(書面表決)

東支部	西支部	南支部	北支部
会員数 64	会員数 46	会員数 39	会員数 49
賛成数 61	賛成数 46	賛成数 37	賛成数 48
未回答 3	未回答 0	未回答 2	未回答 1

以上、全ての支部におきましても、過半数賛成により、全ての議案が承認されました。お忙しい中ご回答いただき、ありがとうございました。

# おしらせ

## 第70回「社会を明るくする運動」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、啓発グッズ・ポスターを例年通り用意・配布することが困難になりましたので、今年度の活動は大幅に変更となります。

### ●JR和歌山駅頭啓発

例年7月1日に行っており、ます駅頭啓発は中止ですが、今年度中に開催できる状況になりましたら、改めてご案内致します。

### ●啓発グッズ・ポスター等

和歌山保護司会から各支部長へ左記の物をお渡しさせていただきます。

うちわ…例年通りの数  
ポスター…2種各20枚

ポスターが必要な方は支部長へご連絡ください。

なお、市内の連絡支所等へは和歌山市より配布していただきます。配布リストは各支部長にお渡ししております。

### ●作文コンテスト

今年度より中学校担当保護司を中心に、小中学校へ直接チラシ等を持参していただき、応募の依頼を行っていただきます。

全ての活動の詳細につきましては、各支部長または各支部担当部長へお問い合わせください。

## サポートセンター和歌山 俳句教室作品

渦を巻く淵の青さや桜舞ふ  
つきたてと届けてくれしよもぎもち  
記念誌の完成祝う青景光  
山若葉いのちもどりし夫退院  
春愁のマスクづくりに時遊かす  
世の喧噪のほほんどまっ葱坊主  
こいのぼり動画で届く孫の作

選者【森 幸子】

森 幸子  
乾 三千代  
大竹 有美  
乙井 八重子  
杉谷 睦生  
得津 壽美代  
中村 咲子

### その他行事について

左記の行事は中止とします。

- ・三者合同研修・懇親会
- ・4支部合同体験発表研修
- ・人権フェスタ参加(映画上映会)

### 地域別定例研修等

各支部からの案内をお待ちください。

### サポートセンター和歌山開所時間

令和2年4月より、平日は毎日開所となりました。開所時間は午前10時～午後4時です。駐車場は近隣の駐車場をご利用いただくことになりましたが、近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。



第70回社明ポスター

## 編集後記

本来なら保護司会通常総会、懇親会の記事を掲載する予定が、コロナウイルス禍で事情が一変。

国内外のスポーツ、音楽他全て自粛。子ども達の卒業式、入学式もマスク姿のコロナ世代。仕事のデジタル化、新しい生活様式の提言。ワクチンや治療薬の見通しがつきにくく、目に見えない不安の最強の対抗策は、免疫力アップ。免疫力は、気力と体力とプラス笑顔(?)。こんな時こそ笑って過ごしたい。

コロナウイルス禍前より、禍が去った後の方が、みんなの笑顔がこぼれる温かい社会であってほしい。そして一日も早く通常の保護司活動ができますように。

そして次号は楽しい話題を皆様にご提供できるサポートセンター広報誌となりますように祈ります。

編集委員一同

新任・OB・OGのみなさん  
参加、大歓迎！！

日時：毎月第3水曜日  
午前10時～  
対象：更生保護関係者